



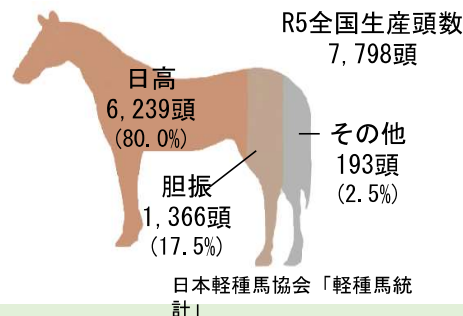
# 軽種馬産業



日高管内は、全国の約80%を占める年間約6千頭を生産する全国一の馬産地であり、毎日走り続ける中央・地方競馬の開催に大きな役割を担っています。近年、中央・地方競馬の売上げは約4兆円で、せり市場においても取引価格が好調であるものの、農家戸数は年々減少傾向にあります。

このため、中央競馬・地方競馬の出走頭数を維持するためには、牧場従業員や後継者の確保が非常に重要となっています。

■軽種馬生産の地域別構成



## 公益財団法人 軽種馬育成調教センター (BTC)



### インタビュー

業務部業務課

遠山 雄大さん (22)

勤続：4年目

出身：浦河町 (浦河高校卒)

趣味：筋トレ、サウナ



遠山さんはどんな仕事をしているのですか？

私が所属する業務部業務課で、馬の調教を監視する業務が主な担当です。モニターでの監視や車で場内を巡回し、事故が起きていないかを把握し、落馬などの事故が発生した際には、状況に応じて救急車を要請します。勤務中は一人で作業をする機会が多いですが、就職後3ヶ月程度は先輩職員が指導をしてくれるので、安心して業務に慣れることができます。



どうしてこの仕事を選んだのですか？

浦河で生まれ、小学生の頃に乗馬体験で馬に触れる機会があるなど、身近にサラブレッドがいる環境で育ちました。馬に関係する仕事に携わりたいと思っていましたため、この仕事を選びました。仕事をする上で直接馬に触れる機会はありますが、裏方として馬産業を支えています。



調教の監視は面白いですか？

当センターには11種類のコースがありますが、敷地が広大なため監視業務が重要な役割を担っています。いち早く事故を発見し、二次災害に繋がらないように心がけています。人と馬の安全を確保し、利用者の方が無事調教を終え、感謝の言葉をいただけたときにやりがいを感じます。



## 遠山さんの一日

- 6:30～ 出勤
  - ・業務準備
- 7:00～
  - ・モニターでの場内監視
- 8:30～ 休憩
- 9:00～
  - ・車で巡回
- 10:30～ 休憩
- 11:00～
  - ・モニター監視or巡回
- 14:30 勤務終了



仕事をする上で大切にしていることを教えてください。

「報・連・相」の徹底です。他部署と連絡を取り合うことも多いので、全員に正しく情報が伝わるよう心がけています。これにより、先輩や上司からアドバイスをもらうだけでなく、場合によっては部署全体で解決策を話し合うことのできるため、重要だと思います。



生き物が相手だと思いますが、お休みは取りやすいですか？

完全週休2日制で、調教場は日曜日が休日のため、シフトで土曜・祝日に勤務はありますが、別の日が代休となります。年間休日数が120日以上あり、年次有給休暇や夏季・冬季休暇も取得しやすく、プライベートの時間もしっかり確保できます。



馬関係の仕事を考えている高校生へのメッセージを。

この業界に限らず全員に対して言えることですが、気になる会社の説明会や職場見学には積極的に参加した方がいいと思います。実際に見る・話を聞くことによって就職後のギャップを少なくできると思います。馬関連産業だけを考えても、様々な仕事があることを知ってほしいと思います。その上で、BTCを選択してもらえればうれしいです。



## 会社の方から

### 業務部次長 清原 繁さん

勤続：33年目

出身：神奈川県

趣味：家庭菜園

BTCは、「世界に通用する馬づくり」を目的に日本中央競馬会（JRA）が建設した大規模調教施設の運営・管理や調教技術者の養成等を行う公益法人です。この施設を利用する馬は若い馬が多いこともあり、怪我なくデビューしてもらうために、安全第一を心がけ、調教場を管理しています。若い馬はとても敏感で、ちょっとしたことが事故に繋がります。そのことを理解し、調教場を利用する牧場関係者の視点に立つことが大切です。その上で、従来のやり方に捕らわれすぎず、柔軟な発想力で新たな提案ができる方を求めています。

## 公益財団法人 軽種馬育成調教センター（BTC）

[所在地] 浦河郡浦河町字西舎528

[電話] 0146-28-1001

[事業内容] 軽種馬育成調教施設の運営・管理、  
技術者の養成等

[設立] 1991年 [従業員数] 51名

[HP] <https://www.b-t-c.or.jp/>

HP





# 採石業



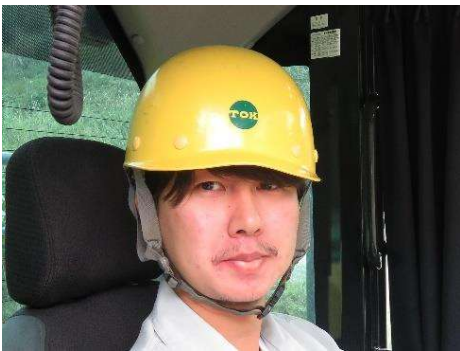
日高管内では、かんらん岩という非常に硬質で耐火性に優れた岩石を採掘することができます。かんらん岩は国内で採取できる岩石や鉱物の中でも、マグネシウムの含有率が高いことから、製鉄の原料や肥料として使用されたり、比重が重たいことからコンクリート骨材や、河川や海岸での公共工事に用いられるなど生活の様々なところで大きな役割を担っています。

管内で採掘されたかんらん岩は、全国各地の製鉄所に出荷されているほか、海外にも輸出されています。



日高管内で産出したかんらん岩

## 東邦オリビン工業 株式会社



### インタビュー

採石課 砂子澤 優利さん (23)

勤続：6年目

出身：様似町（浦河高校卒）

趣味：釣り、バイク



どんな仕事をしているのですか？

入社後は大型特殊免許や建設機械免許の取得に向けた勉強が必要になります。それと並行して、事務作業に従事したほか、採石場の端のスペースで先輩から重機操縦に関する研修を受けていました。資格取得後は、採掘した石の積み込みや運搬作業を行っています。業務で一番楽しいのはダンプの運転で、より大型の車両を運転できるように練習しています。



どうして採石の仕事を選んだのですか？

幼い頃から重機や大型トラックが好きで、中学生の時に職場見学として採石場に行った際にこの仕事に興味を持ちました。高校生の就職活動で会社について調べて、地元の様似で働けること、仕事の内容から当社を選択しました。



仕事をする上で大切にしていることは何ですか？

しっかり自分で考えて行動することです。仕事の流れや優先順位を考えながら仕事をする中で、効率良く業務を行っています。また、決して焦らないことも大切にしています。焦ってしまうと重機を壊したり、横転や転落の可能性があります。私も落とした石を踏んでしまい、危険な思いをしたので、ゆとりも持つように心がけています。



## 砂子澤さんの一日

- 8:00～ 出勤
  - ・採石現場で重機作業  
(途中15分休憩)
- 12:00～ 昼休み
- 13:30～ 採石現場で重機作業
  - (途中15分休憩)
- 16:50～ 日報、報告書の記入
- 17:00 勤務終了



働きやすいと感じるところを教えてください。

年間を通して繁忙期が特にないので、プライベートの予定を組みやすいです。有休も取得しやすいと思います。



機械の操縦は面白いですか？

大型の重機やダンプを運転できることは純粋に面白いです。操縦自体も面白いほか、採石を進めることで山の形が変わっていくことが実感できるので、充実感があります。



地元で働く魅力は何ですか？

地元が好きで、地元で働きたいと思っていました。慣れ親しんだ町で過ごすことで精神的にも落ち着けると思います。また、親が側にいるので親孝行がしやすいこと、学生時代の友達と遊べることもメリットです。



この仕事を考えている高校生へのメッセージを。

この仕事は重機やダンプが好きな人向けの職業だと思います。資格取得は会社から補助が出るので、是非チャレンジしてほしいと思います。



会社の方から

日高事業所長

石井 栄司さん

勤続：42年目

出身：様似町

趣味：スポーツ観戦

当社はかんらん岩という、製鉄や肥料など工業資材として活用される鉱石を採掘、販売している会社です。日高の経済に一役買っていると自負しており、誇りを持って仕事をしています。

また、地元小中学生のキャリア教育として見学の受け入れや、アポイ岳の高山植物に関するプロジェクトに場所の提供、かんらん岩の研究協力など、地域貢献活動にも力を入れています。

社内には、採石場で重機を扱う作業員、掘った岩を製品サイズに粉砕する工場員、岩石の成分を解析する分析班など、様々な業務に携わる人がいます。高校生の見学も受け入れていますので、地元に残りたい方、少しでも興味を持ってくれた方は連絡してもらえれば嬉しいです。

## 東邦オリビン工業 株式会社

【所在地】 本 社：東京都中央区京橋2丁目12番4号光和ビル8階  
事業所：様似郡様似町字幌満 1 1 7 番地の 4

【事業内容】 かんらん岩の採掘・販売等

【設立】 1959年 【従業員数】 32名

【HP】 <http://www.olivine.co.jp/>

HP

